



2025年3月期 第1四半期
決算説明資料

2024年8月9日



1 決算概要

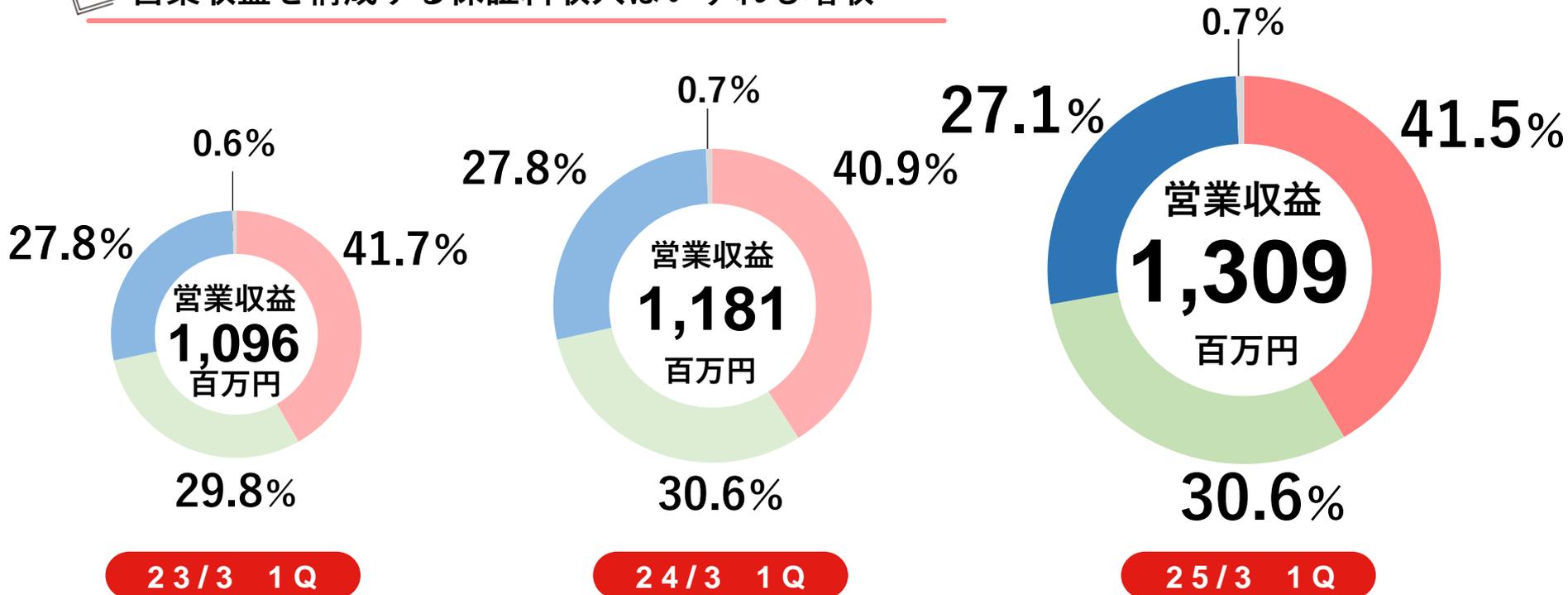
 新規契約数の増加により営業収益は前年同期比110.9%と堅調に増加

 支払手数料、貸倒関連費用の増加に伴い営業費用が前年同期比117.5%拡大

(単位：百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比
営業収益	1,181	1,309	110.9%
営業費用	1,137	1,337	117.5%
営業利益	43	△27	—%
経常利益	71	3	4.4%
当期純利益	45	△2	—%

2 各種指標 営業収益内訳

営業収益を構成する保証料収入はいずれも増収



保証料発生イメージ



〈●：契約時・・・初回保証料〉

〈●：毎月の家賃引落日・・・月額保証料〉

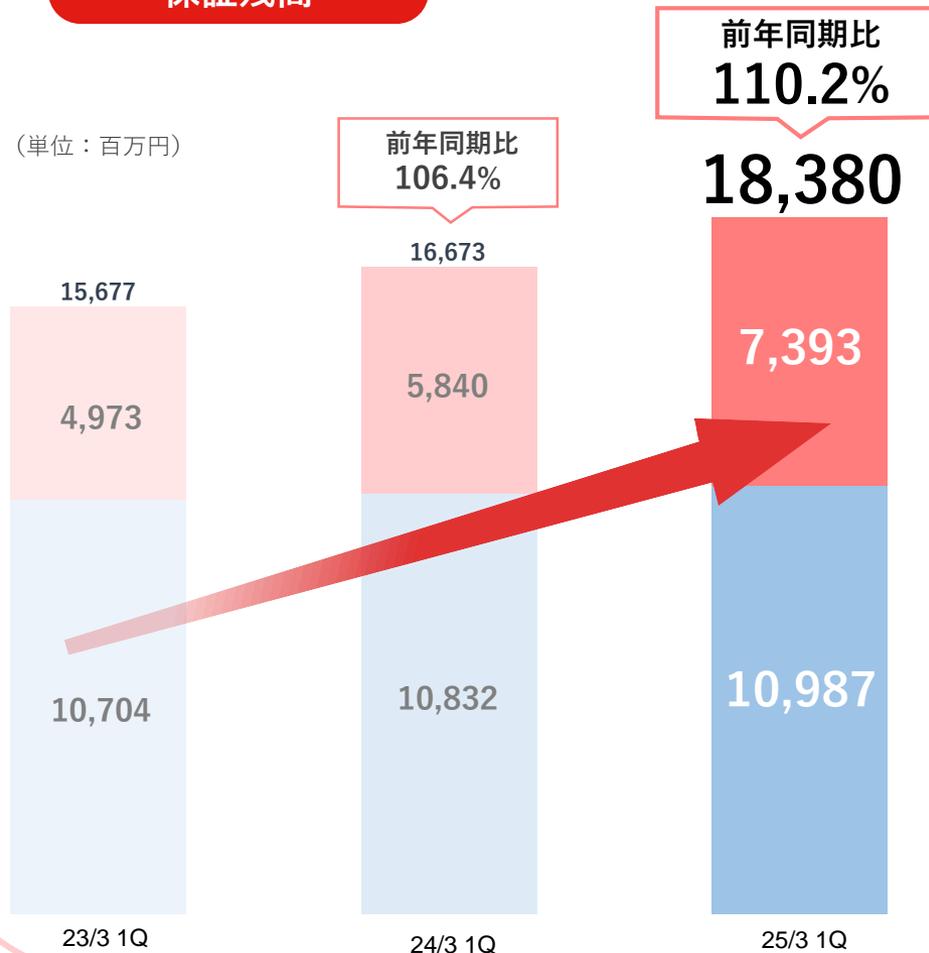
〈●：契約更新時・・・更新保証料〉

2 各種指標 営業関連主要KPI

 自社単独商品を中心に保証残高は増加

保証残高

(単位：百万円)



自社単独商品

前年同期比 **126.6%** 

あんしん保証が家賃立替を行う商品。自社単独商品である「あんしんプラス」では、滞納発生から明渡完了まで全ての費用を保証する。

クレジットカード提携商品

前年同期比 **101.4%** 

クレジットカード会社との提携により販売する商品。主力の「ライフあんしんプラス」では滞納発生から3カ月目までの立替、未収対応をライフカード社で行う。

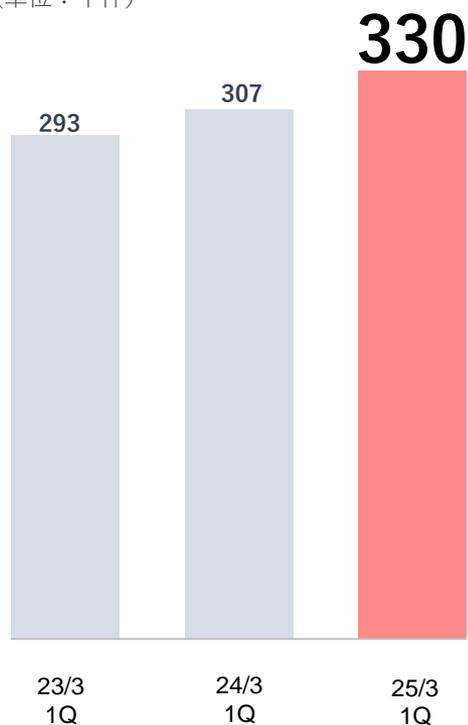
2 各種指標 営業関連主要KPI

 保証料収入の基盤となる保証件数、加盟店契約数はいずれも増加

保証件数

前年同期比 **107.4%** 

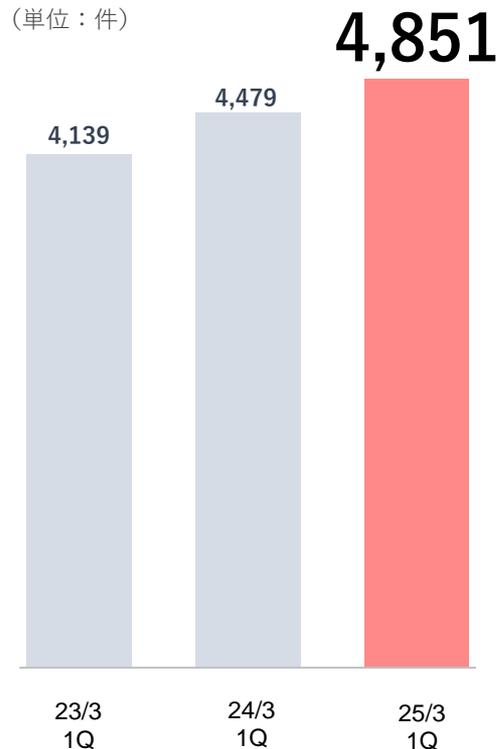
(単位：千件)



加盟店契約数

前年同期比 **108.3%** 

(単位：件)



2 各種指標 貸借対照表

(単位：百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額
流動資産	8,510	10,242	1,731
(現金・預金)	1,229	1,092	▲137
(収納代行立替金)	5,871	7,330	1,458
(求償債権)	1,646	2,116	469
固定資産	1,207	1,322	115
資産合計	9,717	11,565	1,847
流動負債	7,715	9,289	1,574
(短期借入金)	450	600	150
(収納代行預り金)	3,920	4,997	1,076
(契約負債)	2,828	3,121	292
固定負債	5	5	-
(利益剰余金)	1,036	1,309	273
純資産合計	1,996	2,270	273
負債・純資産合計	9,717	11,565	1,847

2 各種指標 求償債権残高

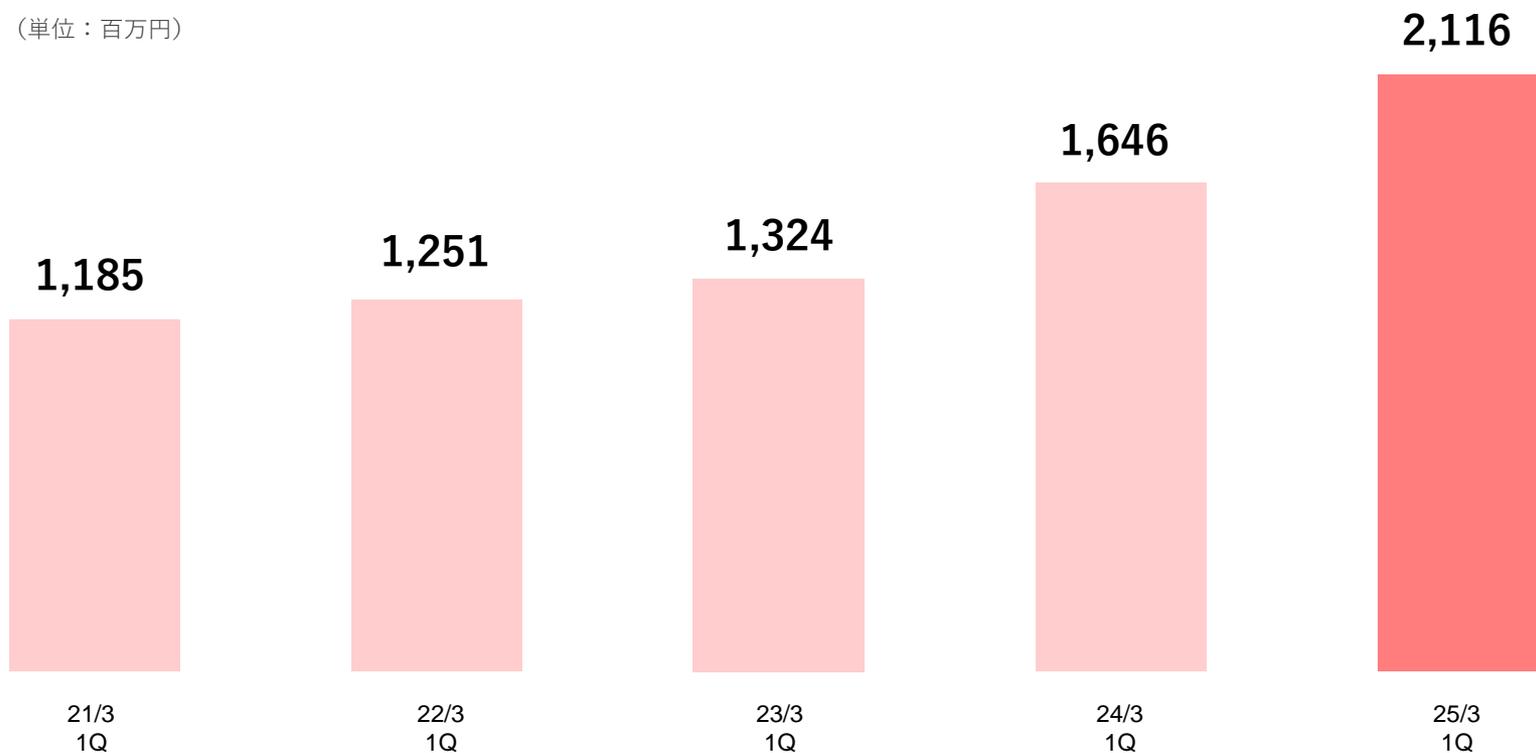


主に自社単独商品の増加に伴い求償債権残高が増加

- ※ 自社単独商品：1ヶ月目の滞納から求償債権残高に計上
- ライフあんしんプラス：4ヶ月以降の滞納から求償債権残高に計上

求償債権残高

(単位：百万円)



3 通期計画に対する進捗状況

 新規契約数の増加により営業収益は概ね進捗どおり

(単位：百万円)	2025年3月期 第1四半期	2025年3月期 通期計画	進捗率
営業収益	1,309	5,423	24.2%
営業利益	△27	575	—%
経常利益	3	700	0.4%
当期純利益	△2	475	—%

今後の見通し

営業収益

新商品の販売強化、利益率水準の維持、加盟店へのメイン利用を促進し、引き続き増収を目指す。

営業利益

営業費用：債権回収面の強化により求償債権残の抑制、貸倒関連費用の増加を抑える。

4 あんしん保証の取り組み 新商品のリリース/DX推進

「あんしんQ-Rent」リリース



東急カード株式会社と共同で新商品をリリース。

東急株式会社のプレミアム賃貸住宅スタイリオおよび東急線沿線の不動産事業者が運営する物件に順次導入。

2024年7月24日から「TOKYU POINTが貯まる」をキャッチコピーに東急線各線で電車広告（右）を展開。



「ハトサポBB」と保証申込機能連携

公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会が提供する「ハトサポBB」の保証申込



機能「ハトサポ申込」における保証申込の連携を開始。WEB連携を通じて、一層の業務効率化と利便性向上に取り組む。

4 あんしん保証の取り組み SDGs

重要課題	当社での取り組み	SDGs目標
------	----------	--------

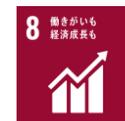
環境課題

- ・ペーパーレス化の推進
- ・契約手続のWEB化
- ・FSC森林認証用紙の採用（株主通信）
- ・森林保護活動支援への参加
- ・クールビズ・ウォームビズの採用
- ・営業活動での公共交通機関利用推進
- ・トナーカートリッジのリサイクル推進



社会課題

- ・家賃債務保証事業の持続的拡大
- ・大規模災害時における支援プランの提供
- ・女性正社員採用の拡大
- ・女性リーダー教育の推進
- ・障がい者雇用
- ・従業員持株会
- ・短時間勤務制度の導入
- ・従業員満足度アンケートの実施
- ・災害備蓄品の購入
- ・定年再雇用制度の導入
- ・海外留学生の採用

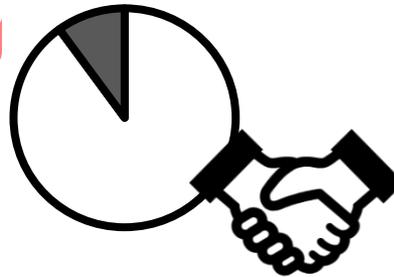


“あんしん”な保証事業の特色

1


フル保証

入居後に発生したトラブル費用など退去・明渡までのあらゆる費用に対応可能

2


審査90分&承認90%

スピーディな審査によりお客様との賃貸借契約成立をサポートします

3


申込NG条件無し

年齢、国籍、職業に関わらずお申込が可能です

※事前にご本人確認の上、契約内容をご理解をいただいた方を対象としています

4


高精度の複合審査

JICC、CICの2つの信用情報機関と独自スコアリングの複合審査を行っています

5


あんしんの全額事前立替

家賃の引落結果に関わらず予め全額立替払いするので個人オーナー様も“あんしん”

6


豊富なラインナップ

プラン内容のカスタマイズが可能な自社単独商品を中心に多様な商品をご用意

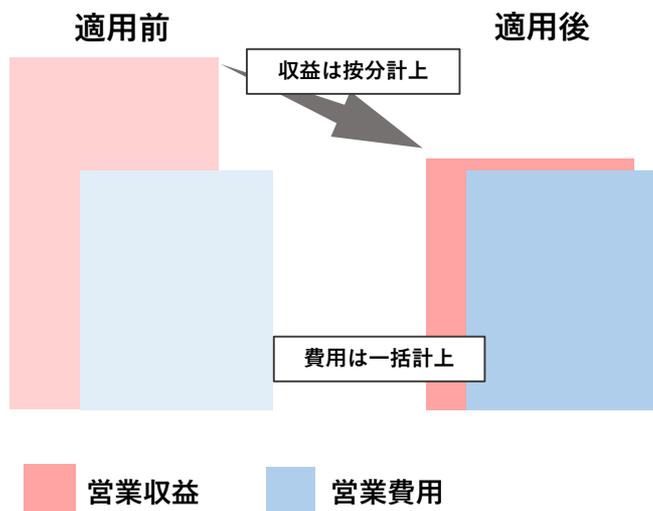
利益構造について



第1四半期の利益構造が数年前と比べて変化しているように見えます。何か要因がありますか？

あんしん保証では、収益認識に関する会計基準の適用により、利益構造が変化しています。第1四半期では同会計基準の適用による影響を比較的受けやすいため、下記のように利益が出にくい構造になっています。

収益認識に関する会計基準の適用による
営業収益・営業費用の計上イメージ



同会計基準の適用前と適用後の
2025年3月期1Q比較

(単位：百万円)	適用前	適用後
営業収益	1,477	1,309
営業費用	1,337	1,337
営業利益	140	△27

財務指標について



貸借対照表の契約負債とは何についての負債ですか？

あんしん保証では、契約期間に基づき契約者様の初回保証料並びに更新保証料の未履行部分を契約負債として計上しています。2025年3月期第1四半期において増加がみられますが、これは保証契約数の増加によるものです。

契約負債は、契約の履行による収益の認識に伴い取り崩されます。

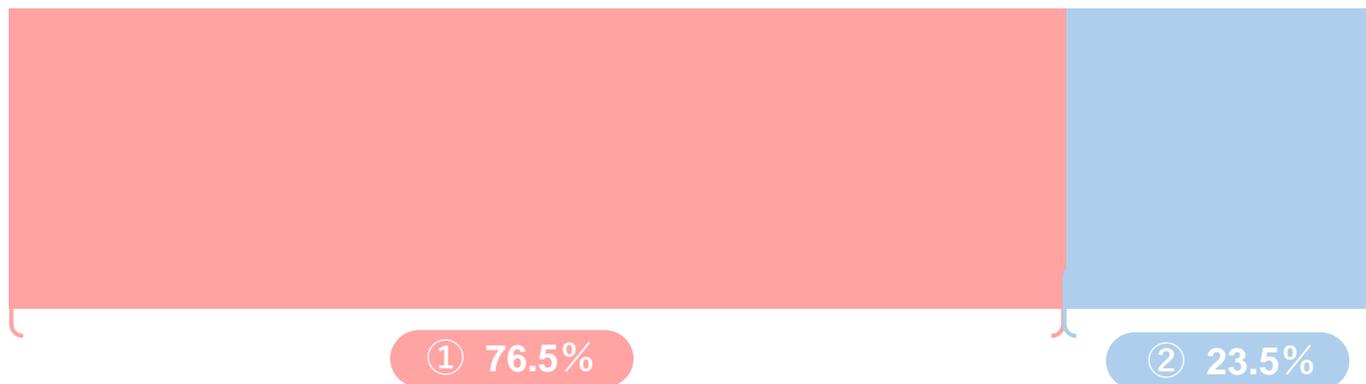
2025年3月期第1四半期計上の3,121百万円のうち

①

2,388百万円（76.5%）は、1年以内に収益の認識を見込んでいます。

②

732百万円（23.5%）は、2年以内に収益の認識を見込んでいます。



財務指標について

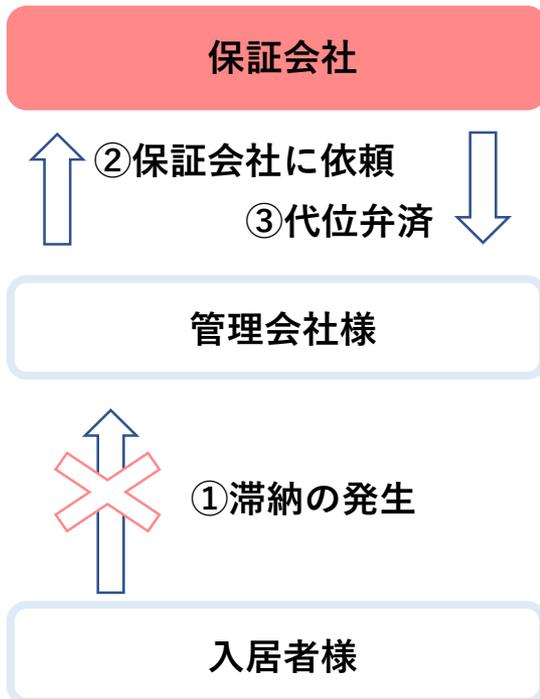


貸借対照表の収納代行立替金とは何を表していますか？

あんしん保証では、家賃引落前に予め管理会社様に立替払いをする事前立替型保証商品を取り扱っています。収納代行業者様から入金前の立替家賃は収納代行立替金として、流動資産に計上しています。

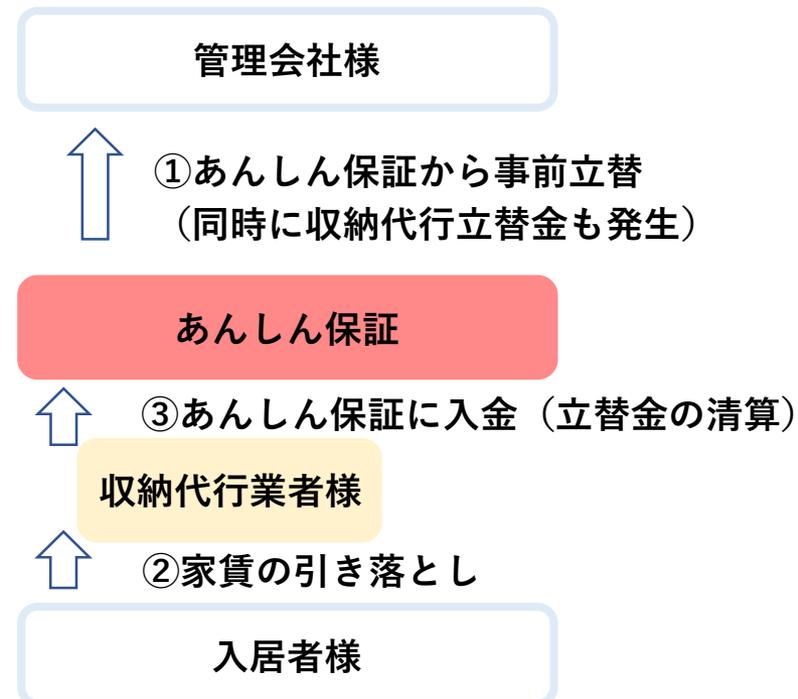
〈滞納報告型〉

※他社で一般的な保証商品



〈事前立替型〉

※あんしん保証で一般的な保証商品



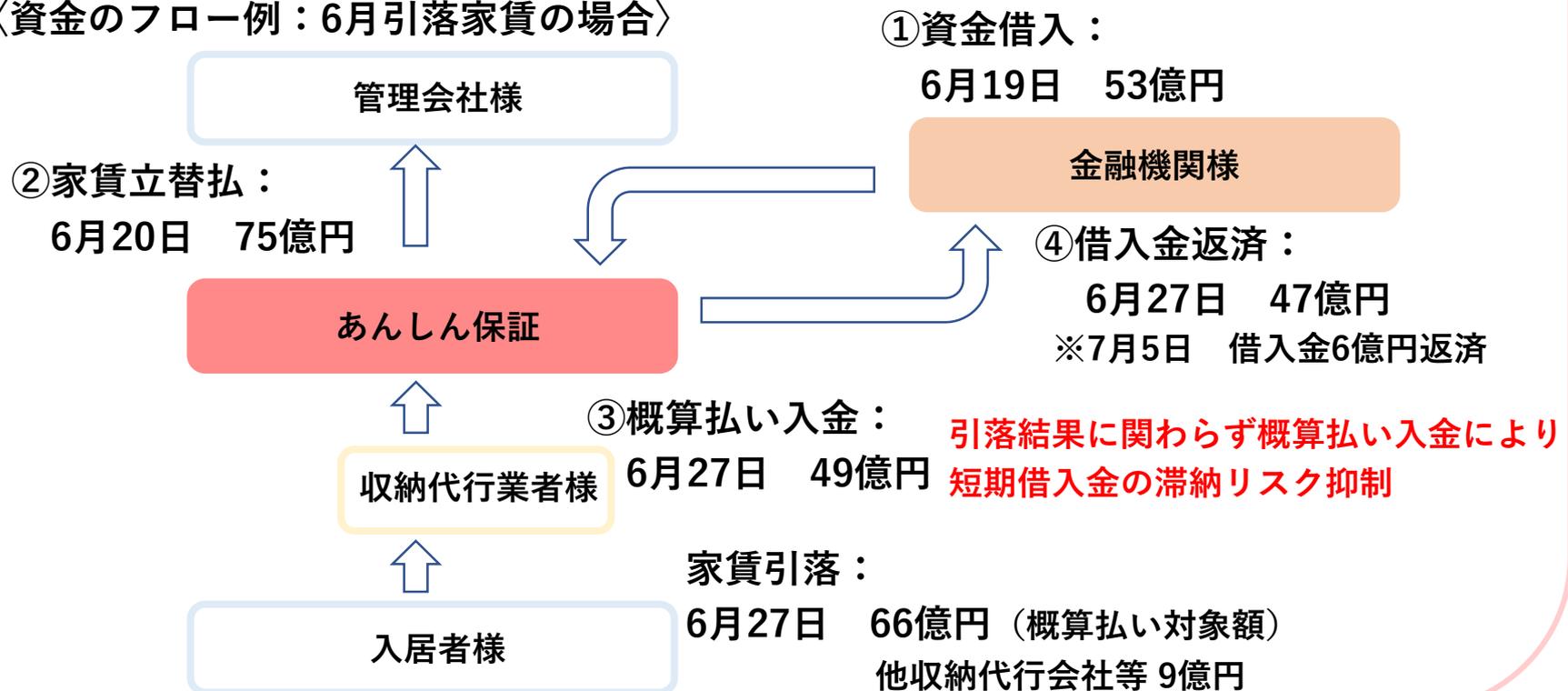
財務指標について



資金の借入を行っていますが経営に影響はありますか？

あんしん保証が提供する事前立替型保証商品は、家賃の引落前に予め管理会社様に立替払を行うため、家賃という返済原資がある中で金融機関様からの借入を行っています。家賃の引落後に短期間で借入金は返済されるため経営への影響は軽微です。2024年6月時点の調達コストは年利換算で1.271%です。

〈資金のフロー例：6月引落家賃の場合〉



あんしん保証は、住まいのインフラとして
賃貸借契約に“あんしん”をお届けします

経営理念

人として社会に感謝し、地域社会の発展に挑む

企業ミッション

連帯保証人制度に代わる機関保証の普及の実現

決算説明資料に関する注意事項

- 本資料は、経営戦略等に関する情報提供を目的とし、当社の今後の見通しや計画等の記述がなされております。
- 現状で入手できる情報に基づき作成しておりますので、本資料で記述していることが経済状況等により、異なる結果に至る可能性を含んでおります。
- また、本資料で記載されている当社以外の情報は、公開されている内容から引用したものであり、その正確性について当社が保証するものではありません。